本四高速

【参考資料】

平成２３事業年度事業計画の概要

目　　次

１．はじめに

２．平成２３事業年度事業計画の概要

３．高速道路事業に係る事業計画

　３－１．高速道路の維持、修繕、災害復旧その他の管理

４．高速道路事業以外の事業に係る事業計画

　４－１．高速道路の休憩所、給油所等の管理
　４－２．国、地方公共団体等の委託に基づく道路の新設、改築、維持修繕
　４－３．独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構の委託に基づく本州と四国を連絡する鉄道施設の管理
　４－４．国、地方公共団体等の委託に基づく長大橋に関する調査、設計等
　４－５．その他の事業

平成２３年４月

本州四国連絡高速道路株式会社

１．はじめに

本州四国連絡高速道路株式会社は、高速道路事業として本州四国連絡高速道路の維持、修繕、交通管理、料金収受などを行うとともに、関連事業として、休憩施設（ＳＡ・ＰＡ）の運営及び国、地方公共団体などからの委託に基づく長大橋に関する調査・設計や関連する道路の維持管理、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構の委託に基づく本州と四国を連絡する鉄道施設の管理などの受託事業を行っています。

当社では、会社の目標を明示し、社員の意識をひとつにするために、「経営理念」を定めるとともに、経営理念を実現するための社員の一人ひとりがどのように行動すべきかを示した心構えとして「行動規範」を制定し、日々の業務の充実に努めております。

平成２３事業年度においても、この経営理念の実現に向けて、誇りと自信を持って挑戦する企業をめざしてまいります。

今後とも皆様方のあたたかいご支援をお願いいたします。

経営理念

Bridge：Communication & Technology

私たちは、本州と四国を結ぶ世界に誇る橋を良好に保つことにより、人と物の交流と地域の連携を推進し、経済の発展と生活の向上に寄与します。

また、これまで培ってきた橋の建設、管理技術を活用して、広く社会に貢献します。

1. お客様に安全、安心、快適に利用していただけるよう、サービスの充実に努めます。
2. ２００年以上の長期にわたり利用される橋をめざし、万全な維持管理に努めます。
3. 橋梁技術のフロントランナーとして、技術の継承・高度化を推進します。
4. 瀬戸内の美しい自然を大切にし、環境に配慮します。
5. 公正で効率的な運営により、経営の安定と成長をめざします。

行動規範

1. 経営理念の実現に向け、誇りと自信を持って挑戦します。
2. お客様の視点を大切にし、お客様との対話に努めます。
3. 現場重視で、素早く決断し、課題を解決します。
4. 自立・自律の精神で仕事に臨み、創意工夫と自己研鑽に努めます。
5. 社員相互の信頼と理解を深め、明るく、風通しのよい職場をつくります。
6. 会社を支える気概を持ち、会社の発展をねがい、自らの幸せを築きます。

２．平成２３事業年度事業計画の概要

○　事業計画については、高速道路株式会社法（以下、会社法）第１０条に基づき、高速道路株式会社が、毎事業年度の開始前に、その事業年度の事業計画を定め、国土交通大臣の認可を受けることとなっています。

○　また、事業計画は、資金計画書及び収支予算書を添えて、国土交通大臣に提出することとなっています。（会社法施行規則第１１条第１項）

○　平成２３事業年度の事業計画については、事業全体としては総額約２６１億円の事業費､うち高速道路事業は約２３４億円の事業費を予定しています。
　また高速道路事業以外の関連事業においては、約２７億円の事業費を予定しています。

○　資金計画については、約７４億円の資金を民間金融機関からの借入金により調達する予定です。

○　収支予算については、当期純利益として約０．４億円を見込んでいます。

３．高速道路事業の事業計画

３－１．高速道路の維持、修繕、災害復旧その他の管理

一般国道２８号、一般国道３０号、一般国道３１７号の３路線（１７２．９ｋｍ）について、適正かつ効率的な維持管理や長大橋及び道路施設の中長期的な管理のために必要な修繕を実施するため、平成２３事業年度には約２３４億円の事業費を予定しております。

事業の実施にあたり、以下の取組みを行ってまいります。

> お客様が安全、安心、快適にご利用いただけるようサービスの充実に努めるとともに、２００年以上の長期にわたり利用される橋をめざし、万全な維持管理に努めます。
>
> 平成２３事業年度は、引き続き橋梁の耐震補強、瀬戸大橋等の塗替塗装、電気・通信設備の更新、また第三者被害対策としてコンクリート剥落対策を継続実施してまいります。

○　耐震補強

本四道路では、地震による災害が社会的に大きな影響を及ぼす橋梁について、耐震補強を行うこととしており、平成２０年度から実施している代替路線のない海峡部を挟む直近 IC 間の橋梁について、耐震補強を継続します。

さらに大規模地震発生時において自衛隊、警察、消防等の広域応援部隊が移動し、救援物資を搬送するため、直轄国道等と連携して本州と四国間の交通路を確保するための耐震補強を実施します。

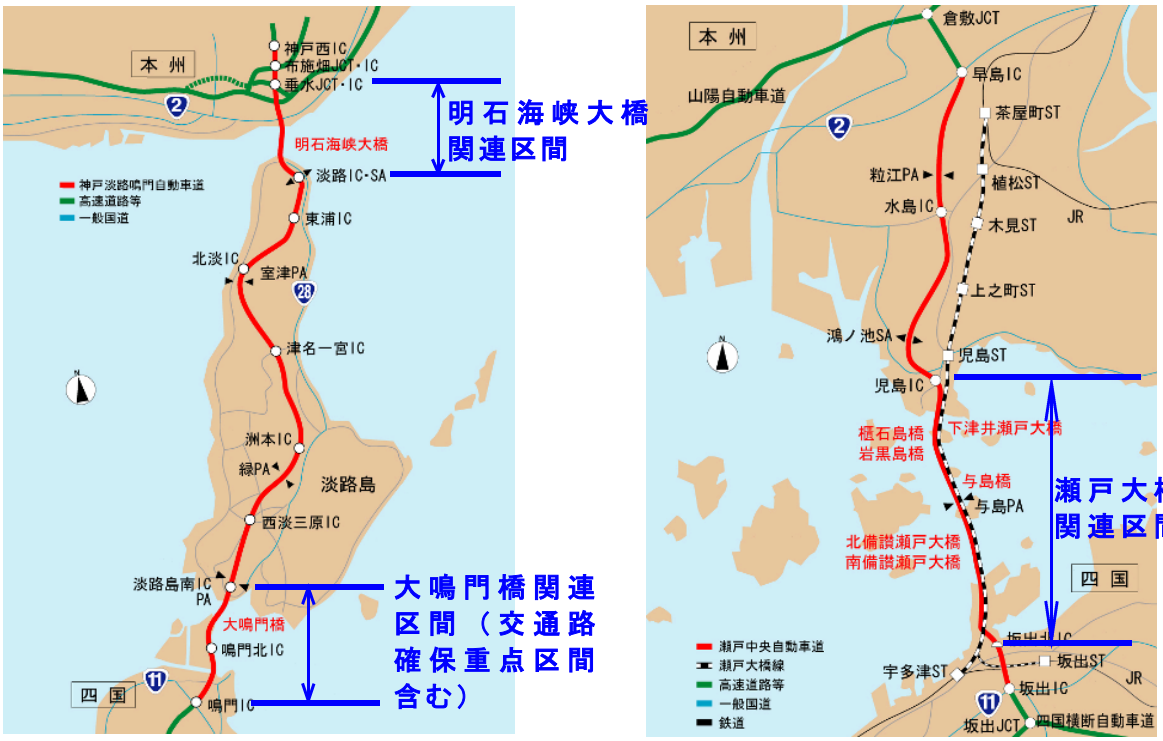


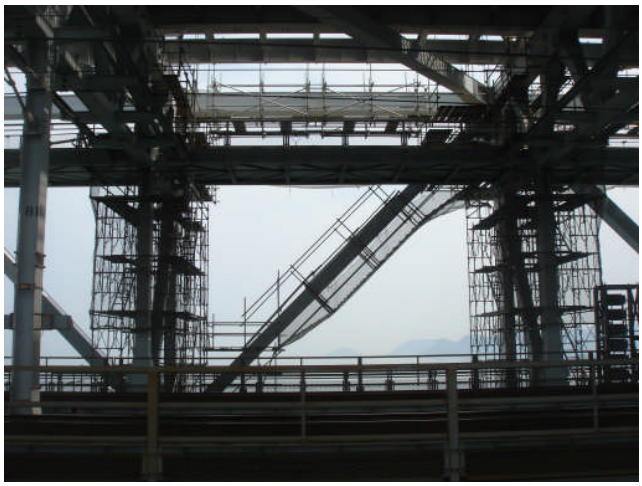
図　耐震補強工事の対象区間

○　海峡部橋梁の塗替塗装

本四道路の海峡部長大橋梁は常時潮風にさらされるため、鋼橋本体には鋼に対して優れた防錆性能を発揮する亜鉛を多量に含む塗料を下地とし、その上に優れた耐久性を有するエポキシ樹脂塗料、ポリウレタン（またはフッ素）樹脂塗料を塗重ねる多層構造の重防食塗装系を採用しています。現場においては、実際の塗膜の消耗度合いを観察しながら、適切に塗替時期を判断します。

平成２３事業年度は、平成２２事業年度に引き続き、瀬戸大橋等の塗替塗装を継続します。実施にあたっては、長大橋の下面に配備した点検作業車等を活用し、安全、環境保持に留意しつつ、工事を効率的に実施します。

瀬戸大橋（北備讃瀬戸大橋）
補剛桁塗膜損耗状況

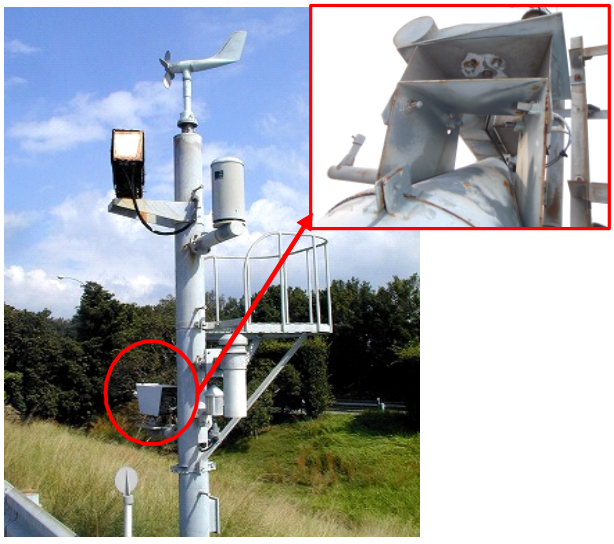


瀬戸大橋（北備讃瀬戸大橋）
枠組足場による補剛桁塗替状況

○　電気・通信設備の更新

老朽化した非常電話及び気象観測設備等の更新を行うなど、電気・通信設備の改修や交換を実施します。

非常電話



気象観測設備

○　第三者被害対策

橋梁からのコンクリート片落下事故は、発生すると第三者に重大な被害を及ぼす可能性があり、早急な防止対策が必要です。

本四高速では、第三者被害の可能性のある箇所について適切な処置を行っておりますが、コンクリートの性能が時間経過とともに低下することを踏まえ、平成２０年度からコンクリート剥落対策を本格的に実施しています。

平成２３年度は、神戸淡路鳴門自動車道及び瀬戸中央自動車道のうち、鉄道・主要道路等を跨ぐ橋梁について、床版防水工や壁高欄にシートを貼付ける対策を継続実施します。

県道を跨ぐ橋梁撫養橋南高架橋

ＪＲ瀬戸大橋線及びランプを跨ぐ与島高架橋

床版防水工による対策実施状況

繊維シート貼付による対策実施状況

４．高速道路事業以外の事業に係る事業計画

４－１．高速道路の休憩所、給油所等の管理

魅力あふれるサービスエリアをめざして、休憩施設の充実及び施設のリニューアル等を行い、お客様に快適にすごしていただける空間の創造に取り組みます。

当社のＳＡ・ＰＡ事業は、

１）お客様サービスの充実

２）コスト意識を持った運営

３）集客力の高い淡路ＳＡの収益力の向上

を運営方針として、以下の取り組みを実施しています。

〔主な取り組み〕

・休憩施設の充実(淡路ＳＡ上り・下り)

・休憩施設のリニューアル(与島ＰＡ)

〔サービスエリア、パーキングエリア一覧〕

自動車道名	サービスエリア等の名称	所 在 地
神戸淡路鳴門自動車道	淡路サービスエリア（上り､下り）	兵庫県淡路市
	室津パーキングエリア（上り､下り）	兵庫県淡路市
	緑パーキングエリア（上り､下り）	兵庫県南あわじ市
	淡路島南パーキングエリア(上り､下り)	兵庫県南あわじ市
瀬戸中央自動車道	粒江パーキングエリア（上り､下り）	岡山県倉敷市
	鴻ノ池(こうのいけ)サービスエリア（上り､下り）	岡山県倉敷市
	与島パーキングエリア	香川県坂出市
西瀬戸自動車道	大浜パーキングエリア（上り､下り）	広島県尾道市
	瀬戸田パーキングエリア（上り、下り）	広島県尾道市
	上浦パーキングエリア（下り）	愛媛県今治市
	来島海峡サービスエリア	愛媛県今治市

４－２．国、地方公共団体等の委託に基づく道路の新設、改築、維持、修繕

○本州四国連絡高速道路と関連する道路の維持修繕等の業務を受託し、国、地方公共団体等の事業(*)に協力していきます。

＊生口島道路管理、大島道路管理などの業務を国土交通省から受託します。また、他の高速道路会社の高速道路と接するＩＣ・ＪＣＴでの維持管理や料金一体収受の受託を継続します。

４－３．独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構の委託に基づく本州と四国を連絡する鉄道施設の管理

○本四淡路線(大鳴門橋)、本四備讃線(瀬戸大橋)の橋体共用部の維持管理業務等を継続します。

４－４．国､地方公共団体等の委託に基づく長大橋に関する調査､設計等

本州四国連絡橋の建設・管理で培った技術を活用した長大橋に関する調査、設計等や発注者支援業務(*)を展開し、幅広く社会に貢献していきます。

＊当社の技術者が設計業務の管理、施工業務の管理などの技術支援を行う業務。

○　本州四国連絡橋の建設から維持管理を通じて蓄積した橋梁技術や発注者としての経験を活かし、国内外で、橋梁の調査、設計から施工及び維持管理までのあらゆる段階で、当社の保有する技術や技術者を活用した技術支援を継続するとともに、対象業務の拡大を図っていきます。

○　また、地方公共団体が管理する吊橋、斜張橋等の大規模橋梁や海上に架かる橋梁の維持管理への技術支援に積極的に取り組んでいきます。

○多様な技術支援例

項　目	内　　容	
計　画	橋梁形式(案)の提案	国内外の最新の知見から最適形式を選定
調　査	調査計画の立案･アドバイス	●自然条件(気象･海象､地形･地質) ●社会条件(環境･航路･漁業等)
基準の作成	設計条件の設定､基準の整備	●耐風設計、耐震設計基準 ●上下部工の設計・施工基準等
技術開発	技術課題の抽出、対応	●設計手法、施工計画、コスト算定等 ●現場における施工上の課題への対応
設計・施工	設計手法、施工計画、コスト算定等	●厳しい架橋条件への対応 ●コスト縮減化への対応
維持管理	維持管理手法の提案	●省力化、長寿命化 ●橋体の健全度調査

４－５．その他の事業

○駐車場業、不動産賃貸事業などを行います。

１）駐車場業

【高架下駐車場事業】

①舞子（まいこ）高架橋下（神戸淡路鳴門自動車道）
②撫養（むや）高架橋下（神戸淡路鳴門自動車道）
③西神（せいしん）高架橋下（神戸淡路鳴門自動車道）

舞子高架橋下駐車場

２）不動産賃貸事業

主な賃貸物件

ＪＢ本四高速舞子ビル　（兵庫県神戸市垂水区）
ＪＢ本四高速尾道ビル　（広島県尾道市）

ＪＢ本四高速尾道ビル